

加古川市スマートシティ構想(案)に関するパブリックコメントの実施結果について

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
1	策定の趣旨	1	<p>ITの門外漢でも理解できるよう、もう少し丁寧な導入が必要ではないのか。これでは、「Society 5.0」の由来もわからない。 (第2段落の案)</p> <p>人類はその生誕以来、狩猟や採集を生活基盤としていた「狩猟社会(Society 1.0)」、農耕を基盤に集団を形成し定住化が始まった「農耕社会(Society 2.0)」、蒸気機関の発明に端を発し工業化を推し進め、大量生産を可能にした「工業社会(Society 3.0)」、インターネット等により世界がネットワークで瞬時に結ばれる「情報社会(Society 4.0)」と変化・発展を遂げてきました。 そして現在、IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術がめざましく進展しており、国を挙げて、これらの先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である「Society 5.0」の実現を目指しているところです。</p>	<p>用語解説を以下のとおり修正します。</p> <p>P37 IoTですべての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出したり、AI(人工知能)により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服される社会。</p>
2	策定の趣旨	1	<p>スマートシティの定義がたとえ多様であるとしても、加古川市としての定義(=捉え方、考え方)を明確にしておくべきである。 (第3・第4段落の案)</p> <p>日本が目指すべき未来社会の姿として提唱されている「Society 5.0」の実現の場とされているのが「スマートシティ」です。世界においてはすでに、ICTなどの先端技術を活用して都市課題を解決し、持続可能な都市として機能する「スマートシティ」の実現に向けて動き出しており、日本全国でも様々な取組みが活発に進められ、今やデジタル技術はハード、ソフト両面の革新(イノベーション: Innovation)に必要な不可欠なものとなっているところです。</p> <p>「スマートシティ」の定義は、非常に幅広い取組みであるため、人によってその言葉の捉え方が異なっていますが、加古川市では、「(インターネットに接続可能な、スマートフォンなどの携帯型の多機能端末である: 脚注とするのであれば不要)スマートデバイスに依存した最先端の技術を用いて、都市が抱える課題を解決して新たな価値を創出することを目的に、都市や地域の機能、サービスを効率化・高度化し、市民の生活を豊かにすること」と仮に定義します。</p> <p>スマートシティでは、テクノロジーやデータは重要な構成要素となりますが、そういったデータを組織内で利活用するだけでなく、市民はもちろんのこと、行政、事業者、学術研究機関などといった市に関わるあらゆる人々が分野横断的に連携しながら、より良いまちづくりへの意識を高めることが最も大切な要素であると考えます。</p>	<p>加古川市としてのスマートシティの定義(本市が目指すスマートシティの姿)をP1の6段落目に「市民中心の課題解決型スマートシティ」として記載しておりますので、原案のとおりとします。</p>

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
3	策定体制	3	オンラインとの差異を強調した意図は理解するが、「対面式の」とするか、省略してはどうか。	ご意見いただいておりますとおり、オンラインとの差異を強調するため、オフラインイベントと表記していますので、原案のとおりとします。
4	基本理念	4	「～生活の質を向上し、ひいては市民満足度を向上することを目的」と、僅か3行の文中で「向上」が同語反復となっている。「～生活の質を高め～」としてはどうか。	以下のとおり修正します。 P4 本市では、さまざまな市の課題についてICTを活用して解決するとともに、市民の誰もがその豊かさを享受することで生活の質を高め、ひいては市民満足度を向上することを目的とするスマートシティを目指します。
5	スマートシティ推進の5原則	5	SDGsアジェンダにかかる外務省の仮訳でも、Inclusionに「包摂」の訳語を与えていることから、ここでも「(社会的)包摂」で差し支えないのではないかと。	以下のとおり修正します。 P5 (4) 公平性、社会的包摂、社会的影響(Equity, Inclusion & Societal impact)
6	【市民】いつでもどこでもできるストレスフリーな行政手続きの実施	7	キャッシュレス決済については、私は現金払い主義者なので出来ない。	現金払いに加え、新たな支払方法としてキャッシュレス決済も利用できるようにする予定です。
7	【市民】いつでもどこでもできるストレスフリーな行政手続きの実施	7	福祉、認知症、介護への提出書類の本人確認のzoomなどへの配慮。病院や寝たきりの本人確認や、代理人が数往復することも多い。効率化は必要。	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 高齢化社会の中で、介護者の負担が増加する中で手続等の効率化により負担軽減となるよう、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
8	【市民】安心して子育てができるまちづくり	12	現在2才の子供を自宅でみながら、育てています。感じるのは、公園の遊び道具の少なさです。滑り台や砂場、ジャングルジムだけです。もう少し、小さな子供から少し大きな子供も遊べるような(もちろん無料で)エリアを分けたような、遊び場は出来ないでしょうか？ 近隣だと、三木市にある「みきっこらんど」や播磨町の「野添北公園」を参考にさせていただきたいです。屋外が難しければ、室内型の遊び場なども検討してほしいです。	加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみなさんと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。 そのため、本構想に記載するアイデア等についても、テクノロジーの導入を手段としたものとしていますので、原案のとおりとします。
9	【市民】安心して子育てができるまちづくり	12	保育園、幼稚園の情報をネットで分かりやすく開示し、申し込めるようにしてほしい	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 なお、保育所等に関する情報を含め、様々な情報を発信する際は、市民の皆さまにわかりやすくお伝えできるよう、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
10	【市民】安心して子育てができるまちづくり	12	子供を短時間でも預けれる場所を駅前などに作ってほしい	加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみなさんと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。 そのため、本構想に記載するアイデア等についても、テクノロジーの導入を手段としたものとしていますので、原案のとおりとします。
11	【市民】高齢者にやさしいまちづくり	14	章の見出しを「高齢者や障害者にやさしいまちづくり」とし、障害者向けのアイデアをもっと記載すべきである。ICTツールの導入により障害者の生活の自立化や社会参加はより一層広がるであろうし、その効果も高いことが予測される。手話通訳ロボットやスマホを活用した表現や思考の言語化支援、同行援護ロボット、車いすの自動運転、白杖と点字ブロック(車いすの天敵)のセンサー化等による移動支援、テレワークの推進等による就労支援、ICTの活用による障害の種類、程度にきめ細かく対する教育の実施等アイディアはいくらでもあるはずである。	市民意識調査等を基に、スマートシティ構想で取り組むべき市の課題を17の基本方針として設定しているため、原案のとおりとします。 障がい者施策についても、他の施策と同様に重要な施策と考えますので、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
12	【市民】GIGA スクールの推進(デジタル教育)	16	加古川広報のICT対談特集で、「学校の授業参観や音楽会などにオンラインで出席出来れば」というアイデアがありました。ICTといっても、市民にはなかなか具体的には伝わらず、理解を得るのに時間がかかると思います。上記のような、至ってシンプルな取り組みから始めるのが良いと思う。学校の音楽会や発表会ならば、父母のみならず、インターネットなどに馴染みがない年配者も関心が高く、全国、世界中に関わりのある人々に発信することで、接点の機会を増やし、理解と、利活用を発想させ、市民レベルで「道具」として使ってもらうことが大事だと思う。	誰でも気軽にICTの恩恵を享受でき、その便利さを実感できることで、スマートシティが浸透していくと考えます。ご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
13	【市民】GIGA スクールの推進(デジタル教育)	16	基本方針を実現するためのアイデアの一例に下記を追加してほしい。 ①「チャレンジクラブのICTクラブ化(MR卓球、オンライン将棋大会等)」 →理由:児童が体験活動を実施していますが、コロナ過では、種々の制約があります。コロナ渦等の影響なく、子どもを育む環境にしてほしいからです	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 コロナ渦等で新しい生活様式が求められる中、児童が生き生きと活動できる環境の整備に向け、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
14	【市民】GIGA スクールの推進(デジタル教育)	16	基本方針を実現するためのアイデアの一例に下記を追加してほしい。 ②「タブレット端末を使用した市立こども園・幼稚園児向けICT教育カリキュラムの導入」 →理由:品川区等では先進的な取り組みとして、園児よりICT教育を推進しています。子どもたちが、自由な発想で制作できるようになること、人前で発表することが苦手でなくなるように等を願うためです。	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 デジタル技術の導入だけに捉われるのではなく、ICTを活用した教育環境を整備していけるよう、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
15	【市民】GIGA スクールの推進(デジタル教育)	16	基本方針を実現するためのアイデアの一例に下記を追加してほしい。 ③「協同的探求学習への積極的なICT活用」 ④「加古川市主催のICT活用による地域課題解決コンテストの開催」 →理由:協同的探求学習とICTのシナジーは高いとの認識です。協同的探求学習のさらなる学習効果を得るためにもICTを積極的に活用してほしいためです。 協同的探求学習の応用として、当事者である児童・生徒がオープンデータ等を活用し、地域課題の解決方法の立案できることと、実際に市が採用し、解決してくれることは、シビックプライドの醸成にも効果的と考えます。	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 本市において、協同的探究学習と情報教育の推進はどちらも重要な施策ですので、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
16	【市民】GIGA スクールの推進(デジタル教育)	16	<p>不登校などへのICT教育の充実 タブレット学習の早期導入 特別支援学級からのわかば学級使用、解除 わかば学級がすでに人数過多なので、自宅でICT教育受けることによる義務教育の充実。</p> <p>病気や行きしぶりの児童に向けて、自習室、自宅でのICT教育充実。 不登校、特別支援支援級の発達支援への管理職、教員の理解と知識を増やす。 特別支援学級は他傷や問題行動、学習障害が優先している。自閉症スペクトラムなど大勢の教室が怖い、団体行動が緊張する、疲れるなどの特性と騒いでしまう特性の児童が同じ教室にいて、怪我などは当たり前の状態になっている。特性として理解出来ない教員も多く、多くの児童は泣き寝入りしている。 特性の多様化に伴い、発達障害を理解して専門家への積極的意見交換より教室を分けることが必要。通級の内容も、各小中学校ごとに設置。</p> <p>いじめの早期第三者委員会及び、加害者への出席停止を徹底。被害者が転校、引越させないための枠組み作り。 学習障害へのタブレット導入し、黒板など板書を減らして学習意欲を高める学習支援。 いじめ加害者への内申書への減点方式、被害者への配慮。 いじめ、発達障害の配慮、行きしぶりなど担任だけに管理職が丸投げで任せている現状があり、学年、保険医、スクールアシスタントへの横通しが出来ない。担任が問題起こし改善がない場合もあり、児童の家族は泣き寝入りになっている。教育委員会から派遣など、間に入って交渉出来るシステムが欲しい。 発達障害や行きしぶり、不登校へのカウンセリングが少ない、足りていない。スクールカウンセラーも知識量が人により全然違ったり、現在に追いついていない場合もある。 カウンセリングの底上げとzoomなどで引きこもりでも受けれるシステム作り。 いじめ加害者をまず別室への徹底、カウンセリングを行い、家族で年単位でフォローを行う。 学校、引き継ぎなどを徹底。学年だけで年度末で解決しない。</p>	<p>「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。</p> <p>また、加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみなさんと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。</p> <p>そのため、本構想に記載するアイデア等についても、テクノロジーの導入を手段としたものとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。</p>

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
17	【市民】GIGA スクールの推進(デジタル教育)	16	<p>発達障害診断後のフォロー場の充実、サポート充実役所フォロー。 療育手帳や放課後ディサービス、計画指導員など、自力で調べて交渉しないとけない。</p> <p>地域によっては送迎の条件もあり、待機放課後ディの家庭が多い。 アナログな部分のシステム構築、他課との連携充実。 特別支援学級からの不登校支援。わかば学級を使用できないので引きこもりしない。 特別支援学級は発達障害の配慮細分化に対応出来ておらず、フォローする教員の理解やキャパオーバーしている。 フォローする場所を学校だけでは不十分。 特別支援学級の細分化。 不登校、いじめなど、学校と保護者への連携を外部的フォローする部署が欲しい。担任、管理職、からの圧力を教育委員会では後輩など繋がりあり不十分。外部的組織が必要。</p>	<p>「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。</p> <p>また、加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみなさんと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。</p> <p>そのため、本構想に記載するアイデア等についても、テクノロジーの導入を手段としたものとしています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。</p>
18	【まち】災害に強いまちづくり	23	<p>今有るアナログの資源、良さが十分活用しきれていないと思う。BAN-BANラジオはカーラジオで十分受信できる。災害初動時は、住民の情報の収集はラジオだと言われている。生の声が聞こえるラジオは不安な時も安心を感じられる。ましてや、市長の励ましの声などがラジオから聞こえてくれば、どれほど市民は心強いと感じるか。加古川市を中心とした受信エリアのBAN-BANラジオを活用する手は無い。ただ、災害時、緊急時に突発的に発信してもチャンネルを合わず、知る人は無い。大事なものは、平常時から市長をはじめ、各部署担当からのメッセージ、有益な情報を市民目線で発信、放送し続けることが大事で、活用、認知されてこそ有事の道具となる。</p>	<p>「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。</p> <p>「官民連携の取組みについては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも基本目標とされる重要案件ですので、ICTを活用した施策についても今後検討していきます。</p>

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
19	【まち】にぎわいのあるまちづくり	25	住みたくなるような街を目指すためにインパクトのあるコンテンツの構成は出来ないか。	加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみならずと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。 一方で、「にぎわいのあるまちづくり」には、「スマートシティ加古川」として市内外から注目されるようなインパクトが必要なかもしれません。 本構想に記載するアイデアの一例は、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとさせていただきますが、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
20	【まち】にぎわいのあるまちづくり	25	就職時に引っ越すために転出する若者を加古川在住のまま仕事は出来ないか。 就職する職そのものも創れないか。 専門家の意見を取り入れることで実現出来ないでしょうか。	加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみならずと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。 そのため、本構想に記載するアイデア等についても、テクノロジーの導入を手段としたものとしていますので、原案のとおりとします。 いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
21	【まち】にぎわいのあるまちづくり	25	このような時代だからこそ、地域のBAN-BANネットワークスと一緒に取り組んではどうか。BAN-BANネットワークスは、設立以降、地域の情報、暮らしに必要な情報を取材し発信し続けている。撮影の機材やノウハウもある。また、無線や光ブロードバンドインターネットの通信インフラも持っている。ICT整備と人材育成を地域の企業と一緒に取り組むことは、結果、市民の利益、人の呼び込みになると考える。中央の大手大企業に大金を落とよりも、地域企業と一緒に開発、取り組むことは、全国にも誇れる良い事例にもなるのではないかと思います。	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 官民連携の取組みについては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも基本目標とされる重要案件ですので、ICTを活用した施策についても今後検討していきます。

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
22	【行政】最新技術による徹底した業務効率化	30	水道のスマートメーター化、市民税や国保料等の賦課及び引去通知や乳幼児検診、特定健診の受診案内、市広報や各種お知らせの電子化をアイデアに加えていただきたい。	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。 なお、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
23	【行政】スマートシティアーキテクトの育成	33	人材については、「スマートアーキテクト」の育成として項を設けているが、実装化に向けての財源確保方策にかかる記載がない。一般会計からの執行とともに、「スマートシティ基金」を造成し事業化を支援することとしてはどうか。	現時点では基金の造成は検討していませんが、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
24	用語解説	36	巻末に用語解説を設けているが、この分野に不案内な者の理解を助けるため、脚注(foot note)方式に改めてはどうか(用語解説のままにするとともに、和文と欧文・略語を区分して記載する方がまだわかりやすい)。また、ICTやイノベーション、チャットボットなども決して人口に膾炙しているとは言えないことから解説を加えられたい。加えて、IoTの用語解説を「モノがインターネット経由で通信すること」としているが、「モノが通信する？」とはわからない解説である。せめて、「すべてのモノがインターネットにつながることで、それぞれのモノから取得した個別の情報に基づき、相互に、かつ、多様なモノを最適な方法で制御すること」程度の説明が欲しい。かつて、日本近代の黎明期に奔流のごとく押し寄せた西洋の文化や概念、そしてそれを表現する外国語を市井の民に理解させようと日本語(漢語)に置換した先人に倣い、できるだけわかりやすい表現に努めていただきたい。デジタルデバイドの解消の第1段階は言葉のデバイドの解消であることを銘記されたい。	用語解説については、読み仮名を付けるなど修正します。 また、IoTの説明については、以下のとおり修正します。 P36 自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すもの。

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
25	その他	-	<p>宗教を代表する点で、お話致します。</p> <p>教育をスマートシティでやる場合、芸術と強く関連付けられる傾向にあります。バチカン市国では、スマートシティ構想が述べられましたが、芸術の発展に寄与する、という点で、封じられました。芸術は、スマートシティ構想の中では、第1産業に置かれます。普通の暮らしを行っていく上で、芸術は、必要ありません。もっと言えば、世界的に、芸術は、衰退していくべきもの、と見えます。芸術が衰退傾向にあれば、スマートシティ構想は、必要なくなる計画である、と思う。日本の教育制度改革も、IT化やDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めれば、公教育として、その地位を奪われかねます。IT化は、2000年代に進められましたが、公教育の中に芸術分野が登場してしまいました。ダンス教育の必修化です。令和元年にそれが始まりましたが、芸術が公教育の中に入れば、将来の子供達への影響は必然的なものになります。元々、日本的経営の中に、芸術分野は発展させなくてよい、という文言が含まれていた、ことを考えると、日本文化は、衰退してもよろしい、ということになる。芸能番組も、そろそろ、それに気付き始めるころ、だと思いますが、芸術を衰退させる事に関しては、スーパーインテリジェンス構想や、教育DXなど、使える様々なツールがある。これらを使用すれば、もっと芸術の公教育への参入が止まらなくなるでしょうが、すべての私財は、投下するためにある。なれば、芸能番組は、日本的経営から離れ、吉本経営にすれば良いのではないのか。芸術は、クールジャパンの中でやれば良いのではないのか。風営業が、行政介入の対象として外れたように、DXも、一神教の制度から外れれば良いだろうが、それでは税収というものが成り立たなくなります。多分岐型情報財の公教育の価値を考えると、スマートシティによる子どもの機械慣れは、危険が多くあります。アニメやゲームならば、家庭の教育で補足できると思うが、スマートシティの場合、誰がその教育を施せばよいのか。そこが、芸術が入り込む隙間になっている、と思います。一神教の点では、それは、市長をCEOにすれば良い、と考える。</p>	<p>加古川市スマートシティ構想(案)の1ページ「策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本構想は市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみならずと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指すものとしています。</p> <p>そのため、本構想に記載するアイデア等についても、テクノロジーの導入を手段としたものとしていますので、原案のとおりとします。</p>
26	その他	-	<p>今の時代は、コンテンツ制作、インターネット活用のスキルは行政職員のみならず広く市民にとっても有益なスキルだと考える。例えば、コンテンツ・映像制作教室やインターネット配信勉強会などを開催し、行政リポーターや市民特派員などを育成していくことは、地域ICT化や、加古川市の良さ、取り組みなどを発信していくのに欠かせないことだと思う。</p> <p>この度のコロナ禍で気づいた、「外に頼ることのリスク」。有事のとき、中央に頼る、外に頼ることが出来ない環境に置かれた。広い意味で、地産地消。事業も人も地産地消。地元には仕事があれば、自ずと人は戻ってくる。人が集まる。これからのDXに対応できる人材づくりを地域で取り組む必要は必須です。</p>	<p>「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。</p> <p>なお、DXに対応できる人材を輩出できるよう、いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。</p>

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
27	その他	-	スマートシティ・ICTの街づくりの構想PRもメッセージの一つだと思います。意識の高い、知識有る市民は意外と少ない。身近なところから取り組み、市民の意識を高め、将来の若い人材を確保するため、地域に仕事がある、新しい仕事ができる事を「言葉」として発信し続けることが大切だと思います。	いただいたご意見を踏まえ、構想策定後の施策を検討していきます。
28	その他	-	推進体制についての記載がない。とともに、この構想の実現に向け、「アイデアの一例」を参考としつつ、3つの基本方針に基づき各施策を推進していくこととなるが、毎年の実施計画を策定し、市民に示すことが必要ではないのか。また、構想の実現に際しては、法令等の規制の緩和、撤廃、さらに全国に先駆けての実施ともなれば特区の申請も必要とされようが、そのような取組方針についても記載されたい。	推進体制については、個別に実行計画を策定する中で定める予定ですので、原案のとおりとします。なお、「法令等の規制の緩和、撤廃、さらに全国に先駆けての実施ともなれば特区の申請も必要」については、国の定める「スーパーシティ」構想の要件となるため、記載不要と考えます。
29	その他	-	スマートシティ推進の5原則において、(1)透明性とプライバシー保護は掲げられているが、加古川市としての情報の保護及びデータの管理体制について記載すべきである。	市としての情報の保護等に関しては、個人情報保護条例や情報セキュリティポリシー等で取り扱いを定めているため、原案のとおりとします。
30	その他	-	この構想がスタートしても、当面は紙媒体との併用になり一時的なコストアップが想定される。このため、財政面からもデジタルデバイドの早期解消が求められる。かかる観点からP14で、「高齢者向け・介護者向けの ICT 教室開催」や「若者と高齢者の ICT 交流会の実施」が「アイデア」として記載されているが、単なるアイデアではなく、可及的速やかに取り組むべき事業である。また、西宮市の某NPOが大学(院)生を講師に高齢者等に対する講座を開催しているが、このような取組を参考に加古川市においても若い力を活用してデジタルデバイドの解消を図るべきである。	「基本方針を実現するためのアイデアの一例」は実施を確約するものではなく、あくまでアイデアとして例示しているものであるため、原案のとおりとします。誰でも気軽にICTの恩恵を享受できることで、スマートシティが推進していくと考えますので、ご意見を踏まえ、構想策定後の施策や具体的な事業を検討していきます。
31	その他	-	スマホ、タブレット端末、パソコンは一切使えないので、これから先どうなることやら心配している。こんな私でも、何とかこれからも加古川市で暮らしていけるようにしてほしい。	「スマートシティ」は、デジタル技術を活用することで、便利で豊かなまちを目指すものであり、誰もがその恩恵を享受できることを目指して進めていきます。一方で、全てをデジタル化する訳ではなく、丁寧な窓口対応や、人と人のつながりなど、アナログの大切な部分は継続すべきと考えます。ご意見いただきました内容については十分議論したうえで、施策や具体的な事業を検討していきます。

No.	該当項目	ページ	ご意見等の内容	市の考え方
32	その他	-	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てをできるまちづくり ・高齢者も安心 ・欲しい情報がすぐ手に入るなどなど ・災害に強いまちづくり ・にぎわいのあるまちづくり <p>など、聞こえのいい言葉ばかりたくさん並んでいますが「GIGA スクールの推進(デジタル教育)」 「一人暮らし高齢者等向けにコミュニケーション用ロボットの導入」など 便利ではありますが、成長期の子どもの教育や、アナログな世界で生きて来られた高齢者に、本当に悪い影響はないのか?とても心配です。</p>	<p>「スマートシティ」は、デジタル技術を活用することで、便利で豊かなまちを目指すものであり、誰もがその恩恵を享受できることを目指して進めていきます。</p> <p>一方で、全てをデジタル化する訳ではなく、丁寧な窓口対応や、人と人とのつながりなど、アナログの大切な部分は継続すべきと考えます。</p> <p>ご意見いただきました内容については十分議論したうえで、施策や具体的な事業を検討していきます。</p>
33	その他	-	<p>「超管理社会」のイメージもあります。</p> <p>個人情報は何もかも管理され、漏洩して利用される危険はいつもあると懸念しています。</p> <p>何でもかんでもAIやコンピューターで管理される社会になる危険、人間らしい慈愛ある繋がりが、ますます希薄になるのではと安心よりも「不安」な気持ちが大きいです。</p> <p>そんな理由で、加古川がスマートシティに変わることには反対です。</p>	<p>個人情報の取扱いについては、十分配慮して施策を実施します。</p> <p>また、市の方針として、人とのつながりは重要と考えますので、皆さまからの意見を取り入れながら施策を実施していきます。</p>